



## ジェンダーに基づく暴力の削減プロジェクト

2014年4月 - 2015年3月

### 年次報告

#### 目的:

1. ダリットコミュニティにおけるジェンダーに基づく差別の蔓延について知識を広め、削減していく。
2. アドボカシーとロビー活動によりダリット女性が地元の資源の利用や管理を高められるようにする。
3. ダリット女性に対する暴力削減を求めるダリット女性の声を強める。

#### プロジェクトの要約

浄土宗平和協会の財政支援および IMADR の協力をえて、FEDO パルサ支部は、シルシヤ VDC とビルガンジ町においてこの 4 年間保健活動を進めてきた。パルサ支部は、ダリット女性の意識高揚プログラムやドメスティックバイオレンスを軽減する取り組みを行った。暴力の被害者の大半はテライ地域の女性たちである。女性たちは暴力や権利について認識がない。もめ事はパンチャヤト（村議会）に頼ってきたため、裁判所のことや、DV あるいは女性の権利については何も知らない。このため、FEDO パルサ支部はダリット女性の意識高揚に取り組み始めた。

プロジェクトの活動はダリット女性の生活にインパクトを与えた。女性たちは DV に関する法令や人権、女性の権利について知識をえた。尊厳ある生活をする権利が保障されなくてはならないことの重要性を認識した。今は、テライ地域のダリット女性の問題を地域全体の問題として表にだし、その克服を目指して前に進もうとしている。

	活動内容	県	目標	完了
1	ダリット女性グループの動員、活動促進そして強化	パルサ	12	完了
2	戸別訪問		12	完了
3	ネットワークと調整		2	完了
4	人権および法的権利に関するトレーニング		1	完了
5	政府機関およびその他機関へのロビー活動		6	完了
6	VDC レベルの相互作用プログラム		1	完了
7	ジェンダー平等と女性エンパワメントのトレーニング		1	完了
8	主要課題で集会を 2 回開催		2	完了
9	本部からのモニター		1	完了
10	地区オフィサーによるモニター		6	完了

## 活動:

### 1. ダリット女性グループの動員、活動促進そして強化:

2014年4月から2015年3月まで、FEDO パルサ支部では27の女性グループがそれぞれ年間12回集まった。会議ではDVについて、その種類、加害者に対する法的手続き、リーダー養成などについて協議された。

## 成果:

- すべてのグループで、毎月貯金をして一定の貯蓄ができた。
- ダリット女性たちはDVおよび法的手続きに関して知るようになった。
- 女性たちはグループミーティングで自分の問題を語れるようになった。
- 女性たちは地区の裁判所に提訴する手続きについて知るようになった。
- グループメンバーを強化し、公的な約束事に適応できるようにするため、グループの方針を作った。

## 課題:

- 女性たちはまだ皆の前で自分の問題を話すことに戸惑っている。

### 2. 戸別訪問:

ダリットの393世帯がDVおよび女性に対する問題について知るようになった。公共機関のサービス利用に関する情報も提供された。

## 成果:

- 上記世帯の2008人の家族がDVについて知るようになった。
- 年配の家族も関係する問題に対して関心を示した。
- ダリット女性もダリット外の女性も問題を正面から受け止め、自分たちの問題を隠さなくなった。
- 戸別訪問を通して、コミュニティの人々は幼児婚や魔女に関する迷信に気づくようになった。

### 3. ネットワークと調整:

FEDO はビルガンジの地域子ども福祉センターで2014年6月8日にネットワーキングと調整に関する会議を開いた。女性5人、男性17人の計22人が会議に参加した。地域の行政長官が出席した。同じ会議を2015年2月20日に開催した。この会議には女性8人、男性13人の計21人が参加した。会議には、関係機関、地区保健所、地区警察署の代表も参加した。

## 成果:

- 農業開発事務所の職員がダリット女性の生活向上のために6万ルピーを寄付してくれた。また、農業や漁業に関する技術指導をし、野菜種苗も提供してくれた。
- ナラヤニ公立病院がダリット地区住民に無料の医療手当を提供してくれた。
- 政府および非政府系の機関の参加者はダリットコミュニティの問題に理解と支援を示してくれた。

- 地方行政機関は、ダリットの福利のための事業をするには、ダリット自身が自分たちの問題に取り組めるよう強くなり一つにまとまらなくてはならないと認識した。

#### 4. 人権および法的権利のトレーニング:

FEDO はビルガンジで人権および法的権利のトレーニングを 2014 年 6 月 7 日・8 日と開き、25 人の女性が参加した。女性たちは人権、女性の権利、DV、法的権利と条文、セクシャルハラスメントについて知るようになった。

##### 成果:

- ダリット女性たちは自分たちの問題を認識できるようになった。
- ダリット女性たちは利害関係機関について知るようになった。
- ダリット女性たちは関係する法律とその手続きについて知るようになった。
- 25 人の参加者たちはトレーニングで得た知識を、各自、最低 5 人のグループメンバーあるいは家族と共有した。

#### 5. 政府機関へのロビー活動:

2014 年 5 月 18 日、FEDO は地元警察に DV の問題、DV 関連の法律、加害者への罰則適用について理解をしてもらうために 訪問をした。警察署員はダリット女性の DV 問題について支援すると約束した。

別のロビー活動として、2014 年 6 月 4 日、地区開発事務所 (LOD) を訪問した。LOD は地区開発委員会の対策と VDC (村落開発委員会) からの 10% 予算の配分について教えてくれた。LOD は FEDO の DV 削減の取り組みを支援すると約束をした。

8 月 22 日にも自治体事務所に訪問した。目的は DV 予防としての教育の重要性について自治体に知ってもらうことであった。DV はテライ地域のダリット女性の間では蔓延している。そうした話をした上で地域の教育委員会のバチュ・チョウダリさんは、FEDO のプログラムを好意的にとらえ、ダリットの子どもたちに奨学金を提供すると約束した。彼はまたダリットの少女の教育をもっと促進しなくてはならないと気付いた。

11 月 27 日に地区警察署を訪問し、女性に対する DV の問題について理解を求めた。12 月 11 日は地区の教育事務所を訪問し、ダリット女性に識字クラスを提供する可能性について協議した。地区教育事務所は FEDO パルサに 6 つの VDC のダリット女性に向けた識字クラスの組織化について提案を提出するよう求めた。

2015 年 2 月 5 日、女性開発事務所を訪問した。ダリット女性が直面する諸問題について、とりわけ DV について協議をした。女性開発事務所がダリット女性に焦点を絞ったプログラムを行うよう促すためのロビー活動であった。

#### 6. VDC レベルの相互作用プログラム:

VDC レベルの相互作用プログラムを 2014 年 9 月 9 日に行った。主要なゲストは VDC の秘書官ガウリ・シャンカー・グプタであった。参加者 27 人は女性に対する暴力、カースト差別、ダリット女性の教育レベルなどについて議論をした。

会議では以下の問題について話し合われた:

- 因習的な考え方や迷信に基づく文化により、ダリット女性は社会的にさらに傷つけられやすくなった。
- ダリットコミュニティは、教育、就労、保健およびその他の発展の側面において遅れている。

この点に関して、VDC の秘書官はダリットと女性に向けた予算配分をどのようにしてとれるかについて述べた。参加者全員は VDC が提供している便宜について、またどうすれば私たちがそれを受けられるかについて話した。

## 7. 主要課題で集会を 2 回開催:

2 月 14 日のオープンデフェケーションの日に集会を開いた。参加者は女性 41 人、男性 47 人であった。集会の準備はビルガンジ町が行なった。もう一つの集会は 3 月 8 日の国際女性デーを記念して行われた。

## 8. 支部のモニター:

6 月 24 日から 12 月 28 日までの間、パルサ支部理事会は 9 つの FEDO 女性グループを訪問してモニターを行なった。グループはシルシア VDC のチェンタナ・ダリット女性グループ、チャプカイヤ VDC のシャンティ・ダリット女性グループ、シルシア VDC のジャイマハビル・ダリット女性グループ、ナガワ VDC のサトマイ・ダリット女性グループ、ムスカン・ダリット女性グループ、ガハワメイン・ダリット女性グループ、ドゥルガ・ダリット女性グループ、アタマニルバハル・ダリット女性グループ、サンサリマイ・ダリット女性グループであった。訪問では、女性グループの現状、プログラムが女性メンバーにもたらしたインパクトなどを調べた。女性たちは、プロジェクトを進めてきたことで、自分たちの生活に変化が起きたことに気がついた。女性たちは貯金を定期的に行うよう言われ、所得創出活動を確立するために集まったお金を投資する方法を教えられた。女性グループのメンバーたちは今、教育の必要性を実感し、子どもたちを学校に送り出した。これはプロジェクトの成果である。

もう一つのモニターは 2015 年 1 月 23 日、3 つのグループを対象に行われた。アタマニルバル・ダリット女性グループ、ジャガリット・ダリット女性グループ、ジャイ・マハビル・ダリット女性グループである。女性グループは定期的に会合を開いてきた。

## 9. 本部のモニター:

2015 年 2 月 8 日から 9 日、本部からラクシャ・リサルとパートナー団体の IMADR から小森恵のモニター訪問を受けた。2 人はビルガンジの 2 つの女性グループを訪問した。一つはビルガンジ町にあるガハワメイン・ダリット女性グループでメンバーは 27 人いる。もう一つはカルワワラ・シュリシヤ VDC にあるアアトマニルバル・ダリット女性グループで、31 人のメンバーがいる。女性たちは彼女たちの生活に起きた変化を話し、一人ひとりが直面している問題と解決すべき点について話しあった。グループは保健と衛生に関してたくさんの知識を身につけたし、ジェンダーに基づく暴力をなくすために団結している。

訪問中にはプロジェクトチームとのミーティングももたれ、女性に対する暴力を削減を目指した新しい 4 年間の総合的な計画の具体的な内容について協議し、初年度の取り組みについて議論をした。

## 全体的な成果:

- ドゥルガ・ダリット女性グループとガハマイン・ダリット女性グループは協同組合の運営を始め、毎月 200 ルピーを貯蓄している。
- 女性たちはエンパワーされ、自らの権利に気づき、利用可能な行政サービスを正当に要求することができるようになった。
- 何人かの女性たちは日常的に貯金をするようになり、それが彼女たちを社会的、経済的に助けている。
- FEDO の指導により、ダリット女性たちはグループ活動を始め、協同組合を結成した。
- 女性たちは DV について、正義を実現できる関係機関について知るようになった。
- 性感染症、結核、HIV/AIDS などの病気について知るようになった。
- 女性たちは性病について知らされ、グループの中で 7 人の女性が治療を受けた。
- 女性たちは公立病院で無料で受けることのできる治療について知らされ、実際に治療を受け始めた。
- 家族計画について学んだあと、女性たちは避妊具を使い始めた。
- ダリット間により関係が築かれ始めた。
- 女性たちは毎月 200 ルピーのグループ貯金を始めた。
- ビルガンジ町のガハマイン・ダリット女性グループは協同組合の登録を行ない、その名義で 2 万ルピーを低金利で借り入れた。グループの貯蓄で得た利息は年に 1 度、メンバーたちに配分される。
- 女性グループは子ども貯金基金を開始した。
- 女性たちは自分たちに関わる事件について関連する司法機関等に通報できることを知った。
- 女性メンバーの家族も保健、衛生、女性に対する暴力の重要性について知らされた。
- 女性たちは周囲の人びとに幼児婚やダウリ制度をなくそうと説得し始めた。
- 集団でミーティングをして、トレーニングを受けて、集会に出ることで、女性の顔を隠す制度が減少しつつある。
- グループミーティングで、女性たちは名前を書くことができるようになった。
- 女性たちは子どもや妊婦の予防接種について知るようになった。
- 女性たちは栄養不良の子どもを栄養センターに入院させた。
- 女性たちは妊娠中の女性の栄養について、また注意すべきことについて知るようになった。

## 問題:

1. ダリットおよびダリット女性の問題を軽減するために異なるタイプのトレーニングの実施が必要である。
2. 女性への暴力を減らすためには男性に対するトレーニングの必要がある。
3. ダリットは仕事がないため社会的にも経済的にも後進にある。
4. ダリット女性は貧しい経済状況にあるため、子どもたちに教育を与えることは非常に難しい。
5. この社会では、ダリットはまだ伝統的に従事してきた職業に縛られており、それにより、過剰な不可触が実践され、カーストに基づく差別が横行している。そうした慣行を減らすため、スキルトレーニングと雇用提供が行われるべきだ。
6. 女性に対する暴力軽減に関するプログラムは継続されるべきだ。

7. 政党にダリット女性が参画するアクセスがない。

### 学んだこと:

- VDC (村落委員会) は非常に疎外されているため、ダリットの生活向上のためにまだ変化が必要である。
- 男性支配のため、大半のダリット女性はまだ外に出てくることができず、家事や偏見に縛られており、自らを解放することができない。
- ダリット女性グループはスキルトレーニングや所得創出につながるとトレーニングを求めているが、FEDO ではそうした活動は行っていないので、支部長は彼女たちの要求を満たすことができない状況にある。

### 課題:

- 社会的構造により、テライのダリット女性の問題を表面化することが難しい (多くの女性が暴力を受けている)。
- 女性たちは警察にケースを通報することを望んでいないし、不正義に耐えることを受け入れている。
- ダウリ制度により女性に対する暴力が相当にはびこっている。
- 資源は限られている一方、私たちの支援を必要としているダリット女性がまだまだ多くいる。また、時には、社会的制約や偏見によりそうした女性に手を差し伸べることができない。
- ダウリ制度により幼児婚がまだ実践されている。
- 

### フォトギャラリー



地区レベルのネットワークミーティング

人権と法的権利に関するトレーニング





人権と法的権利に関するトレーニング



人権と法的権利に関するトレーニング



ダリット女性グループの動員、促進、強化



本部からのモニター訪問



女性グループへの訪問



戸別訪問